



アーキラインシェルター AR-F型 壁付け

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

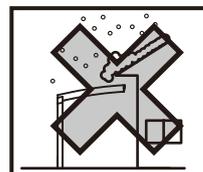
ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「各ページの右上」または「**梱包明細表**」を参照してください。

□ 施工の前に

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ※施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
 - ※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
 - ※給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。
熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。



💡 お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書および「アーラインシェルター AR-F 型 両支持 取付説明書(E460)」をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- AC100V電線の埋設工事、配線作業については電気工事店の有資格者に依頼してください。

□ 基礎工事について

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱の付け根部に水抜き穴をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

💡 お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

□ 施工上のご注意

⚠ 注意

- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、

ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

- ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。

※φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m

※M6ボルト : 12.0N・m±0.5N・m

※M10ボルト : 24.5N・m±0.5N・m

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

※φ5ネジ : 3.0N・m±0.5N・m

※M8ボルト : 20.0N・m±0.5N・m

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

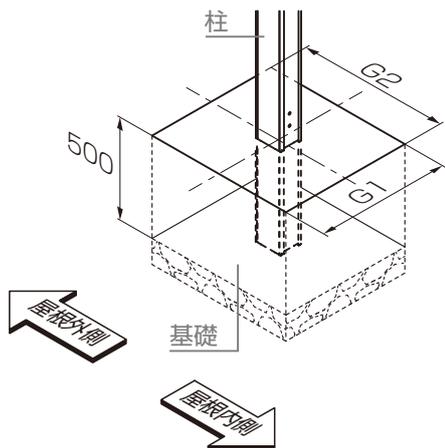
□ 施工の後に

⚠ 注意

- ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

1 柱・壁付け部品の位置だし

1-1 両支持

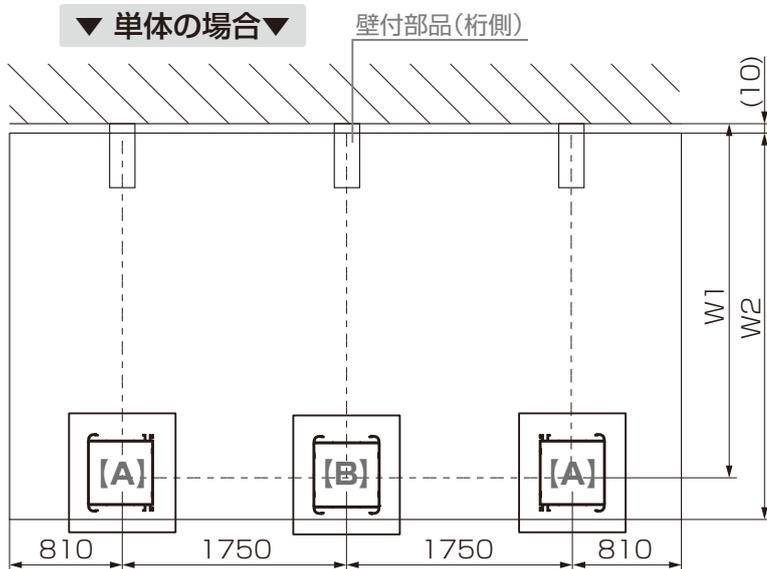


●基礎寸法

	前枠側壁付け		桁側壁付け	
	G1	G2	G1	G2
H25	800	800	1250	1250
H30	900	900	1350	1350

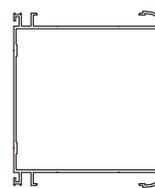
1-2 桁側壁付け

▼単体の場合▼

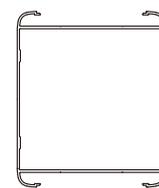


💡お願い

●柱の向きに注意してください。



【A 柱詳細図】

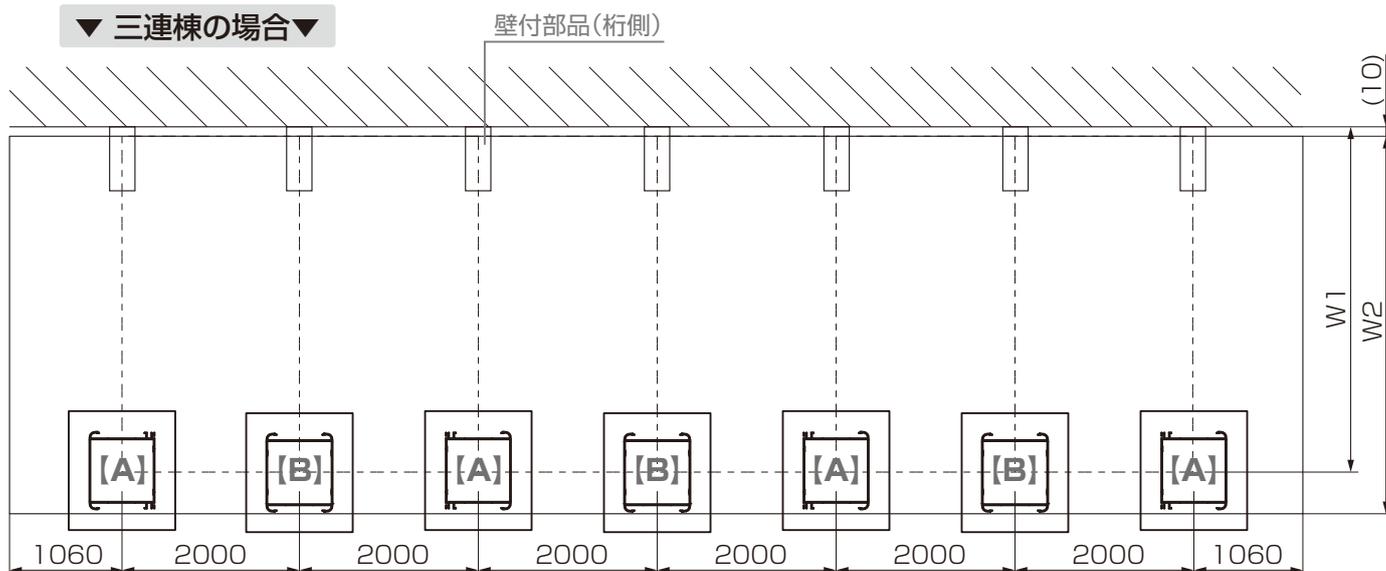


【B 柱詳細図】

●寸法表

	W1	W2
W20	1939.9	2000
W25	2439.9	2500
W30	2939.9	3000

▼三連棟の場合▼



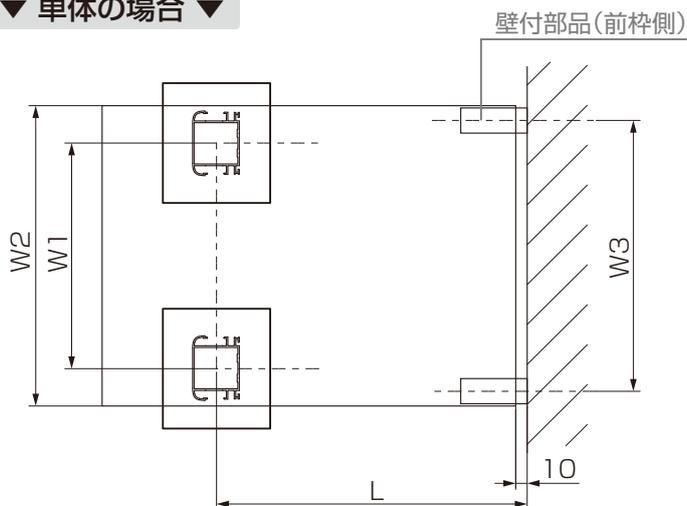
●寸法表

	W1	W2
W20	1939.9	2000
W25	2439.9	2500
W30	2939.9	3000

1 柱・壁付け部品の位置だし

1-3 前枠側壁付け

▼ 単体の場合 ▼

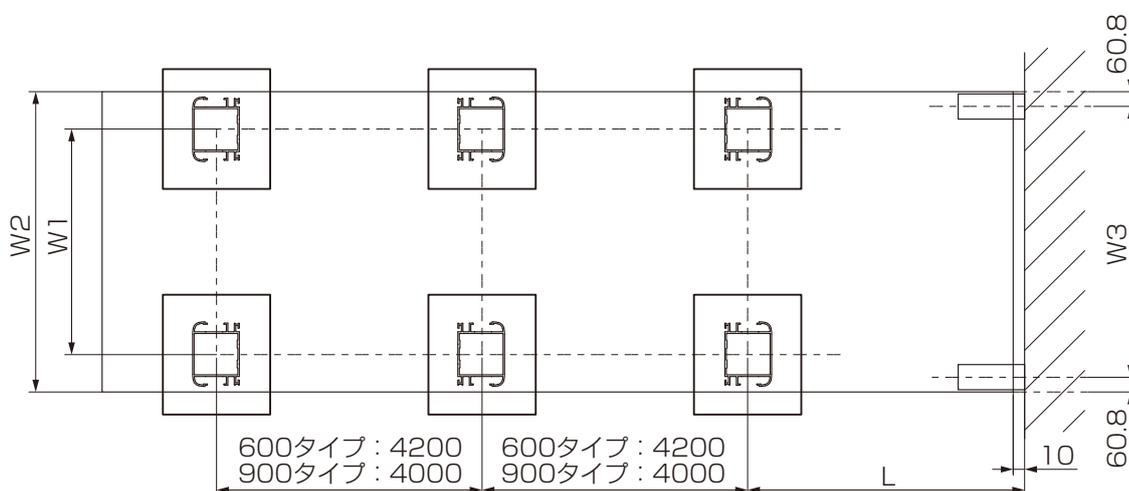


●寸法表

	W1	W2	W3
W20	1859.8	2000	1878.4
W25	2359.8	2500	2378.4
W30	2859.8	3000	2878.4

	600タイプ	900タイプ
	L	L
W20	3920	3820
W25	3920	3820
W30	3920	3820

▼ 三連棟の場合 ▼



●寸法表

	W1	W2	W3
W20	1859.8	2000	1878.4
W25	2359.8	2500	2378.4
W30	2859.8	3000	2878.4

	600タイプ	900タイプ
	L	L
W20	4270	4070
W25	4270	4070
W30	4270	4070

2 本体の施工

[1b]	φ6×30サラ小ネジ
[1c]	M6六角袋ナット
[1d]	M6平座金

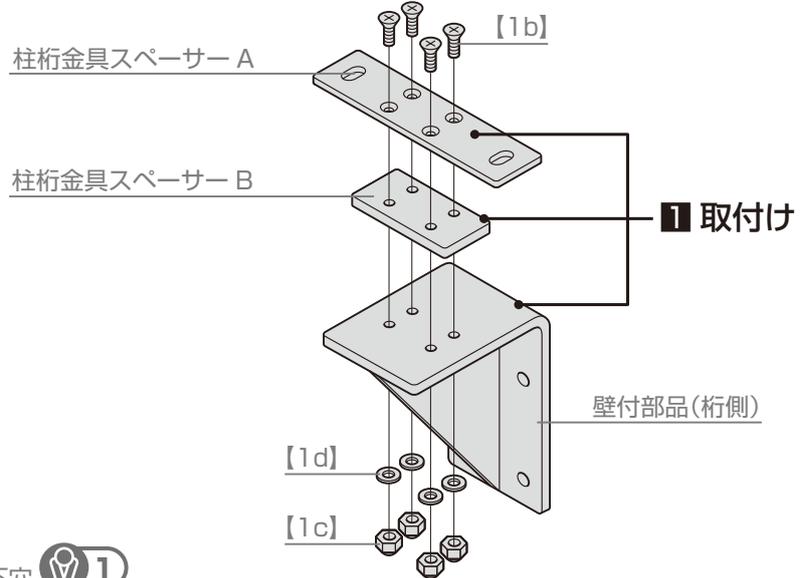
2-1 桁側壁付け

2-1-1 壁付部品（桁側）

🔧 お願い

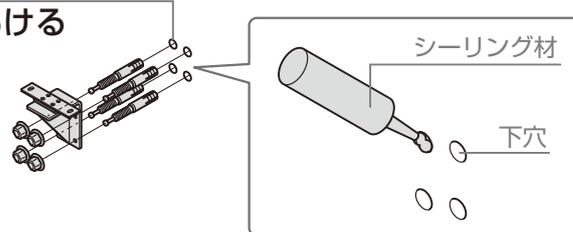
●先に「E460 アークラインシェルター AR-F型 両支持仕様」P.9～P.12を参照してください。

1: 柱桁金具スペーサーB、柱桁金具スペーサーAを壁付部品(桁側)に【1b】【1c】で取付け



2: 壁付部品(桁側)の穴位置を躯体にけがいて、【M10あと施工アンカー】用の下穴をあける

🔧 1 2 あける



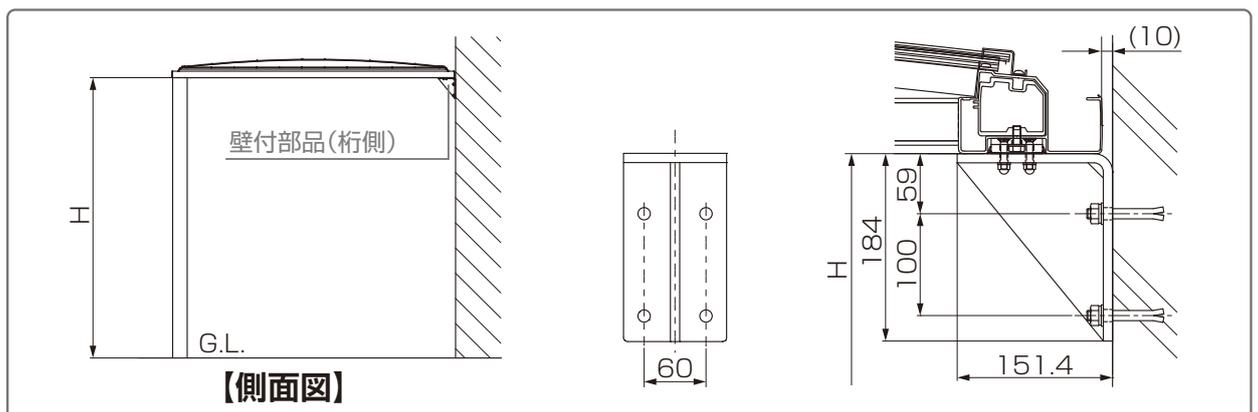
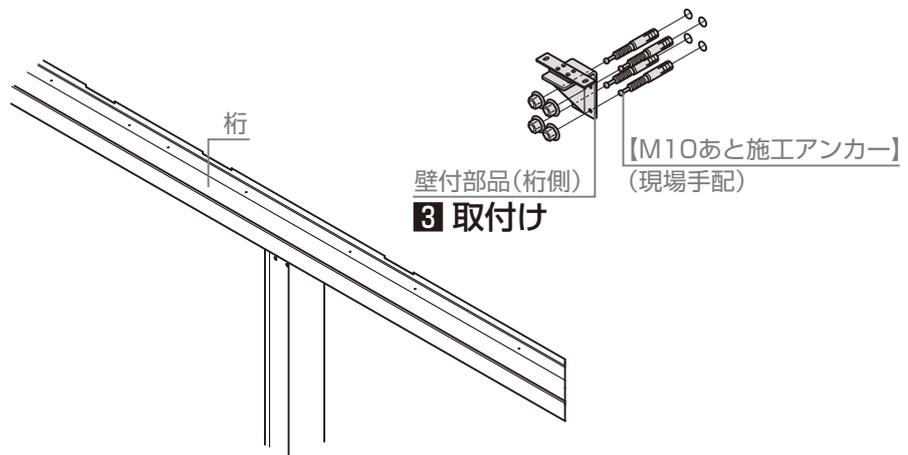
3: 壁付部品を躯体に【M10あと施工アンカー】で取付け

🔧 お願い 1

●躯体の下穴には、必ずシーリングをしてください。

⚠️ 注意

- 【M10あと施工アンカー】(現場手配品)推奨の下穴より、大きい穴をあけないでください。
【M10あと施工アンカー】が抜け易くなります。
- 【M10あと施工アンカー】は全長40mm以上のものを使用して下さい。



2 本体の施工

2-1 桁側壁付け

2-1-2 水切り材

1: 水切り材にφ7の穴加工

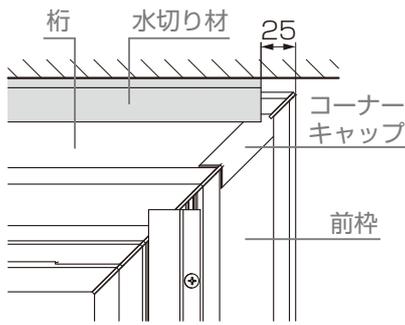
お願い

- 水切り材の穴は、3箇所以上加工してください。
- 水切り材は必要に応じて切断して、長さを調整してください。

2: 水切り材用の穴位置を躯体にけがいて、【M6あと施工アンカー】用の下穴をあける

お願い

- 水切り材が桁端部から25mm空けて取付けられるよう、水切り材と躯体の下穴をあけてください。コーナーキャップに干渉するおそれがあります。



3: 水切り材を躯体に【M6あと施工アンカー】で取付け

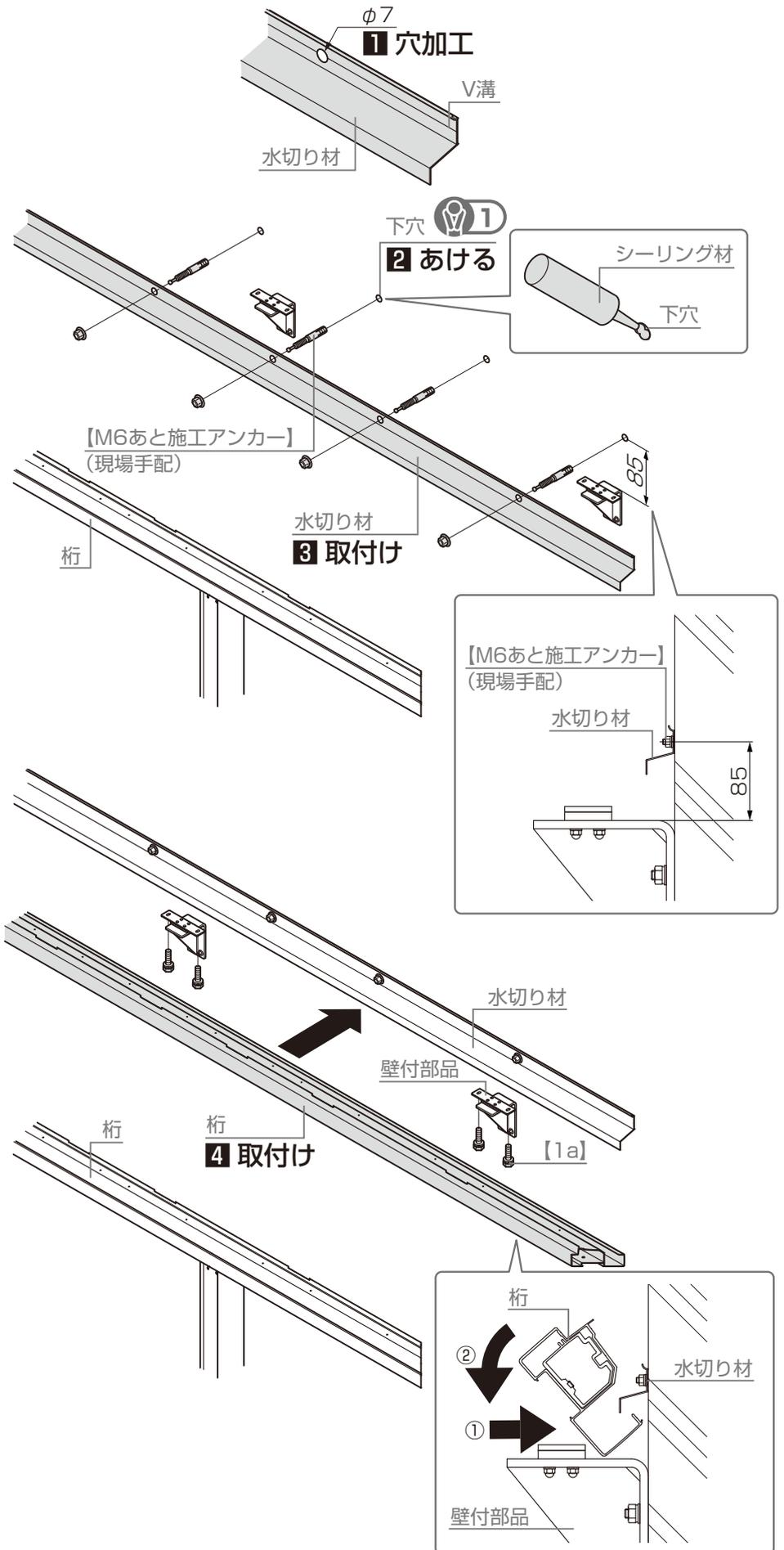
お願い 1

- 躯体の下穴には、必ずシーリングをしてください。

注意

- 【M6あと施工アンカー】(現場手配)推奨の下穴より、大きい穴をあけないでください。【M6あと施工アンカー】が抜け易くなります。

4: 桁を壁付部品に【1a】で取付け

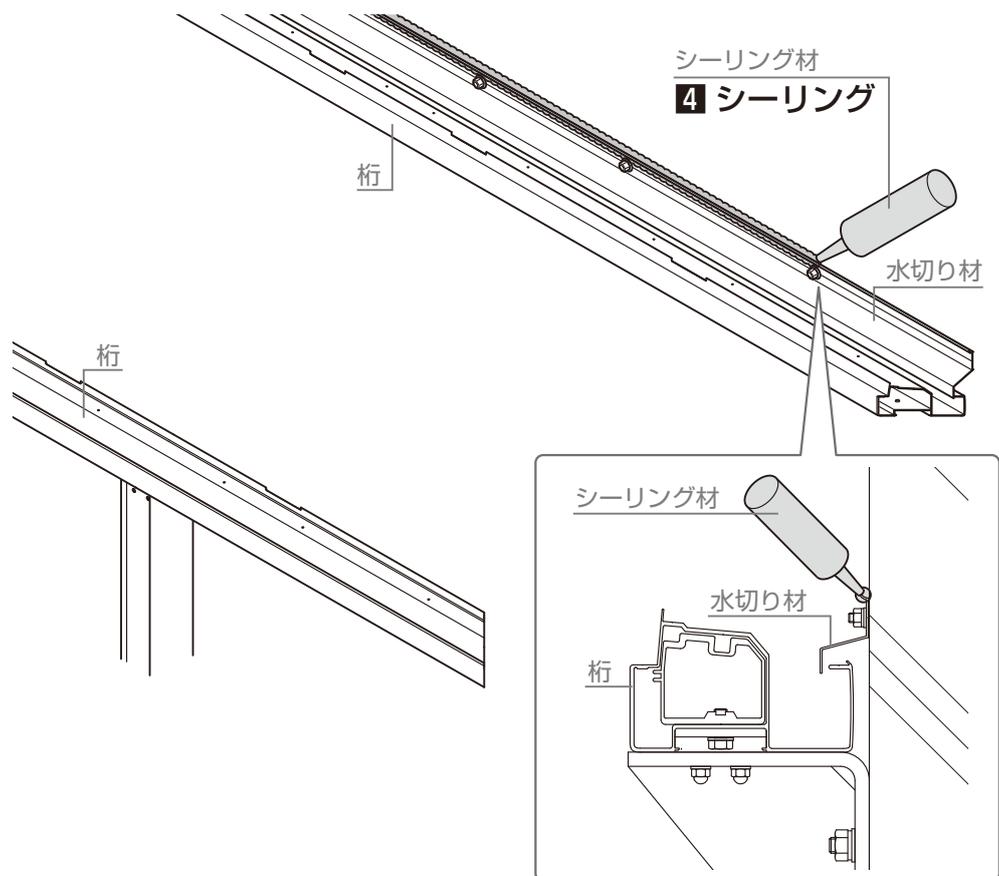


2 本体の施工

2-1 桁側壁付け

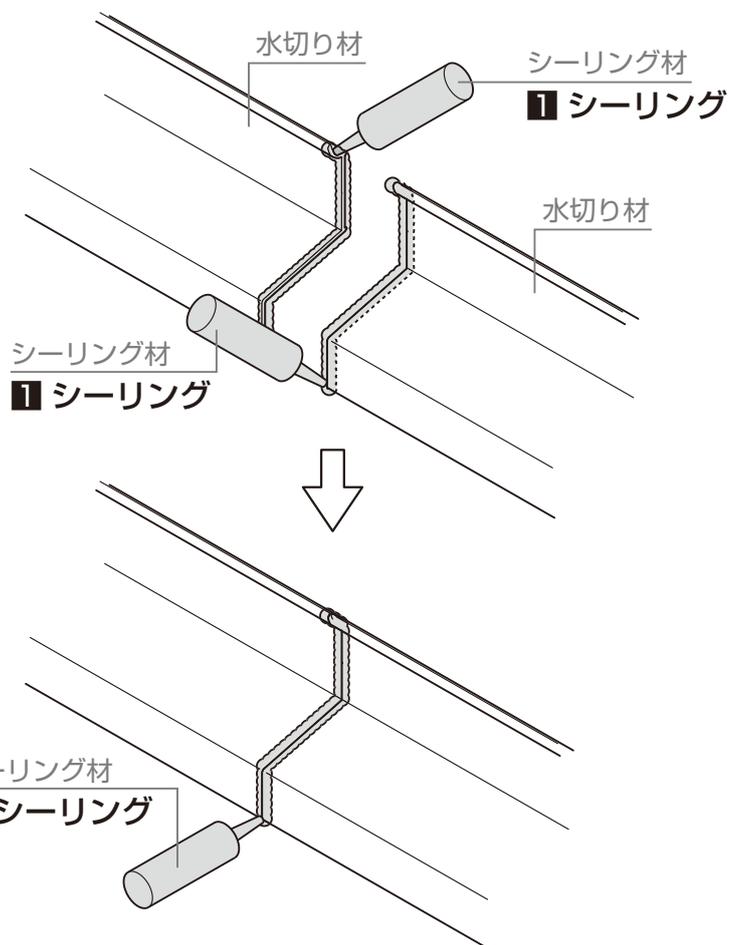
2-1-2 水切り材

4: 水切り材にシーリングを塗布



▼ 水切り材を連結する場合 ▼

1: 水切り材の小口にシーリングを塗布



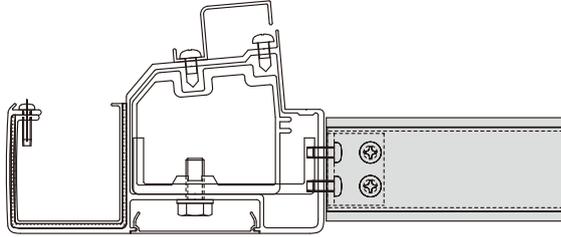
2 本体の施工

2-1 桁側壁付け

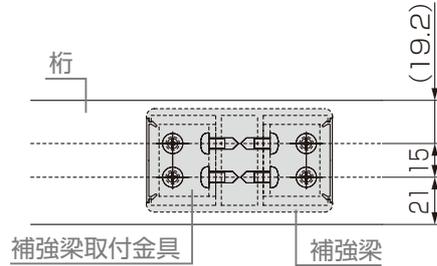
2-1-3 補強梁 ※前枠側壁付けの場合は必要のない作業です。

■: 補強梁の取付けピッチ、取付け位置を確認

■ 取付け位置確認

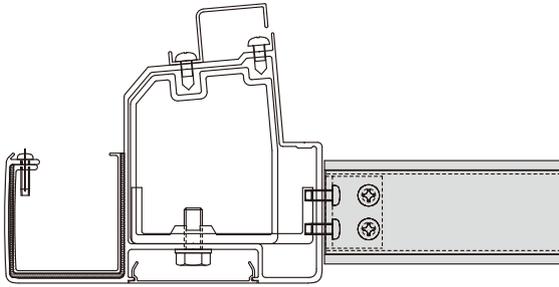


【断面詳細図(側面)】

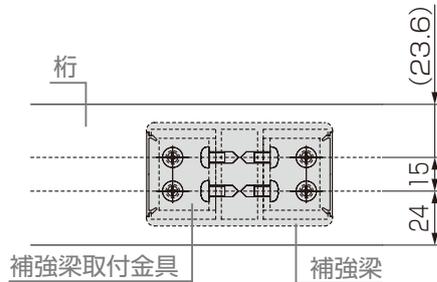


【断面詳細図(正面)】

▲ 600タイプの場合 ▲

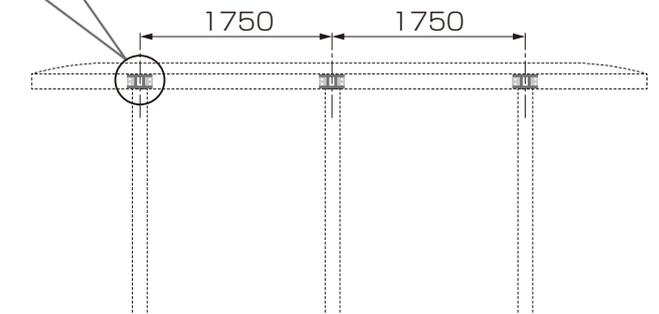


【断面詳細図(側面)】

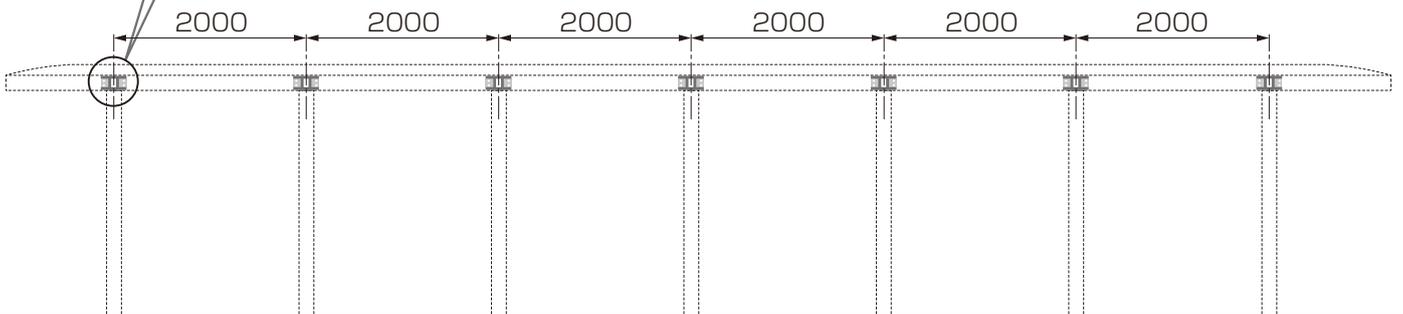


【断面詳細図(正面)】

▲ 900タイプの場合 ▲



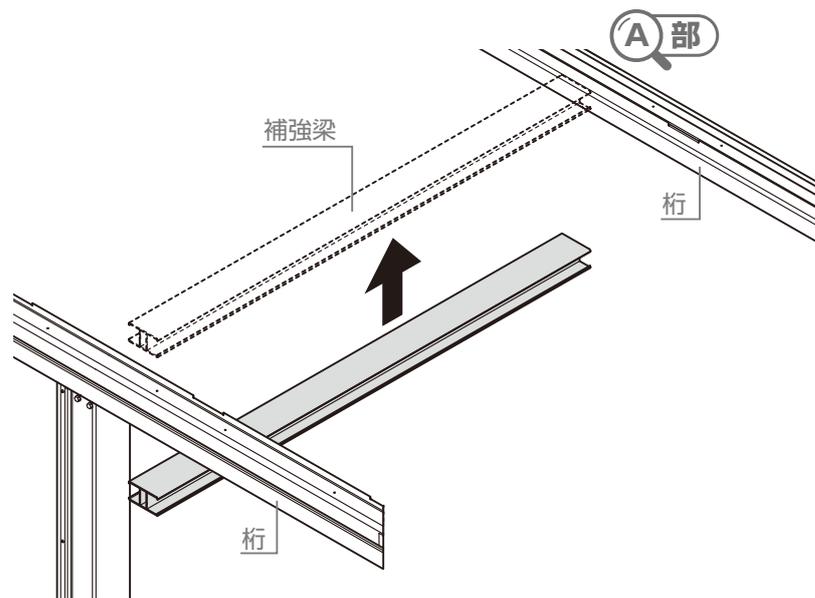
▲ 単体の場合▲



▲ 3連棟の場合▲

2-1 桁側壁付け

2-1-3 補強梁



1: 補強梁取付金具を補強梁に【14b】で取付け

お願い

●補強梁取付金具は補強梁と面一になるようにして取付けてください。

A部詳細図

1 取付け

2 取付け

2: 補強梁取付金具を桁に【14a】で取付け

3: 補強梁カバーを補強梁にはめ込む

3 はめ込み

お願い 1

●補強梁カバーはあて木をあてがい、ハンマー等ではめ込んでください。

お願い

●以降の取付けは「E460 アーケラインシェルター AR-F型 両支持仕様」を参照してください。

2 本体の施工

2-1 桁側壁付け

2-1-4 豎樋(壁側)

1: 桁に雨樋アタッチメント用の孔加工

お願い

- 雨樋アタッチメント用の孔は、縦樋を取付ける位置から1000mm以内に加工してください。

2: 豎樋を切断

3: 加工した穴に雨樋パッキン、雨樋アタッチメントを【8a】で取付け

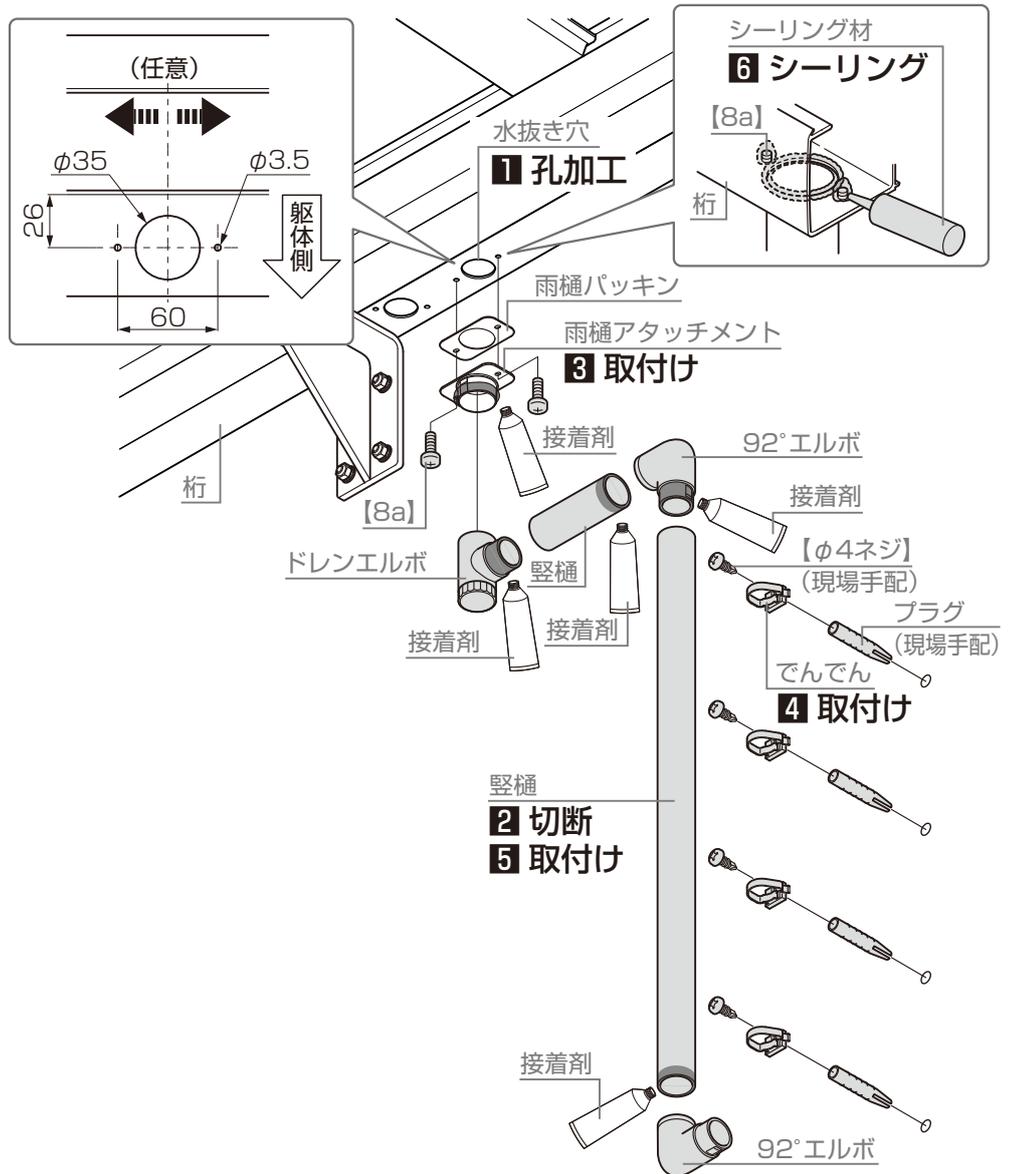
4: 壁にでんでんを【φ4のプラグ】(現場手配)で取付け

5: ドレンエルボ、豎樋、92°エルボを接着剤で取付け

6: 桁内のネジ部と穴の周囲にシーリングを塗布

お願い

- 柱側の豎樋は「E460 アーキライン シェルター AR-F型 両支持仕様」P18~21を参照してください。

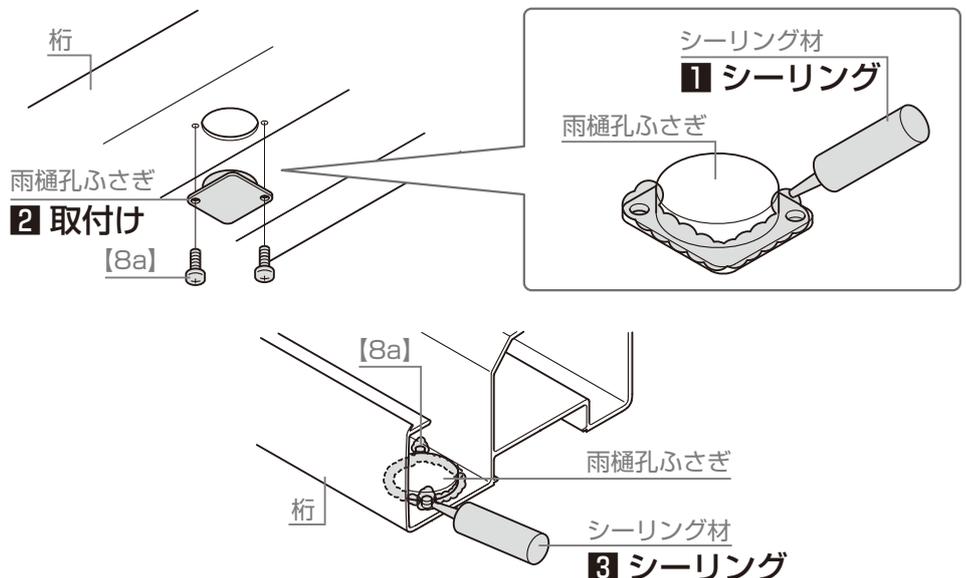


▼ 既存の排水孔 ▼

1: 雨樋孔ふさぎにシーリングを塗布

2: 雨樋孔ふさぎを桁に【8a】で取付け

3: 取付けた【8a】のネジ先と穴の周囲にシーリングを塗布



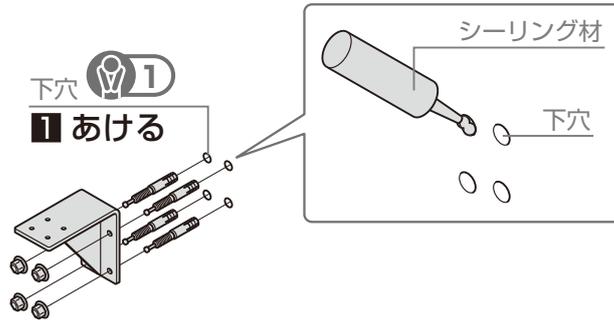
2 本体の施工

2-2 前枠側壁付け

2-2-1 壁付部品（前枠側）

1: 壁付部品(前枠側)の穴位置を躯体にけがいて、【M10あと施工アンカー】用の下穴をあける

2: 壁付部品を躯体に【M10あと施工アンカー】で取付け



お願い 1

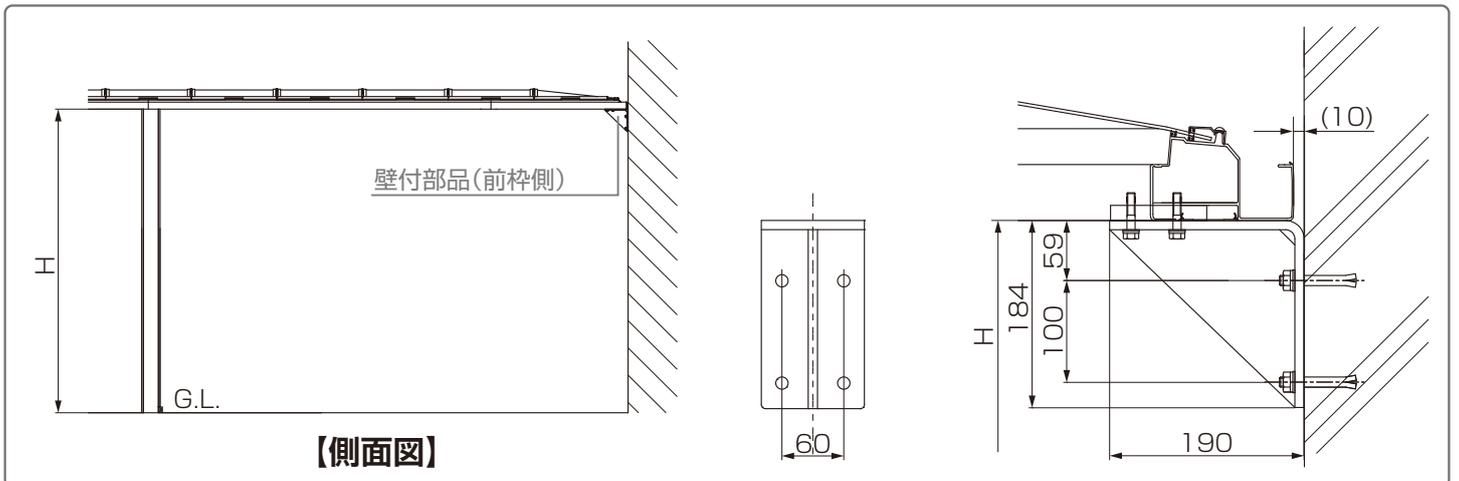
- 躯体の下穴には、必ずシーリングをしてください。

注意

- 【M10あと施工アンカー】(現場手配品)推奨の下穴より、大きい穴をあけないでください。
【M10あと施工アンカー】が抜け易くなります。
- 【M10あと施工アンカー】は全長40mm以上のものを使用して下さい。

壁付部品(前枠側)

2 取付け



2 本体の施工

2-2 前枠側壁付け

2-2-2 水切り材

1: 水切り材にφ7の穴加工

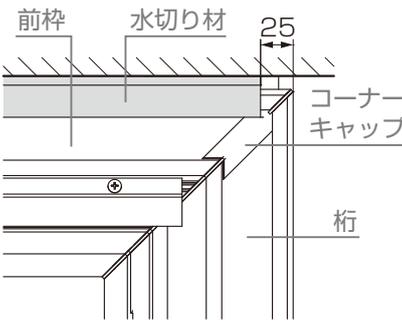
お願い

- 水切り材の穴は、3箇所以上加工してください。
- 水切り材は必要に応じて切断して、長さを調整してください。

2: 水切り材用の穴位置を躯体にけがいて、【M6あと施工アンカー】用の下穴をあける

お願い

- 水切り材が桁端部から25mm空けて取付けられるよう、水切り材と躯体の下穴をあけてください。コーナーキャップに干渉するおそれがあります。



3: 水切り材を躯体に【M6あと施工アンカー】で取付け

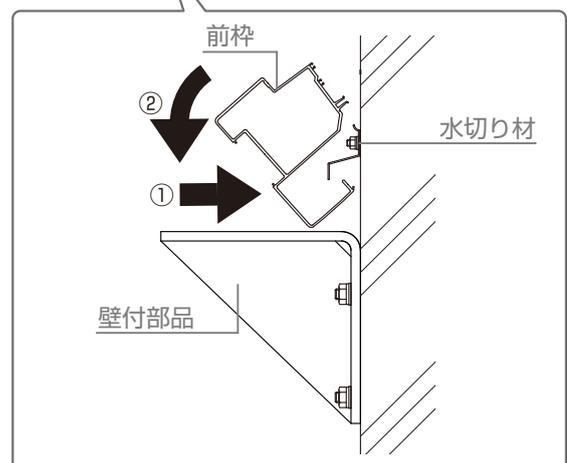
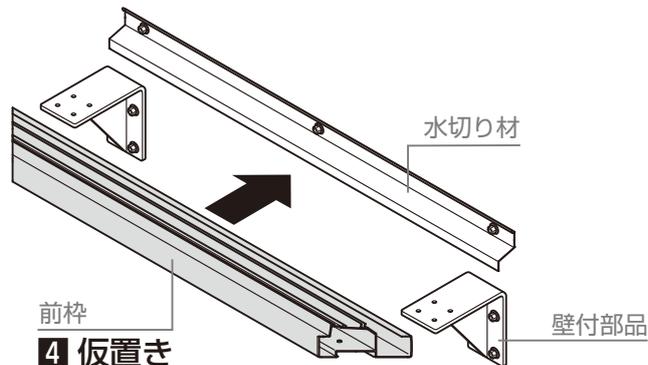
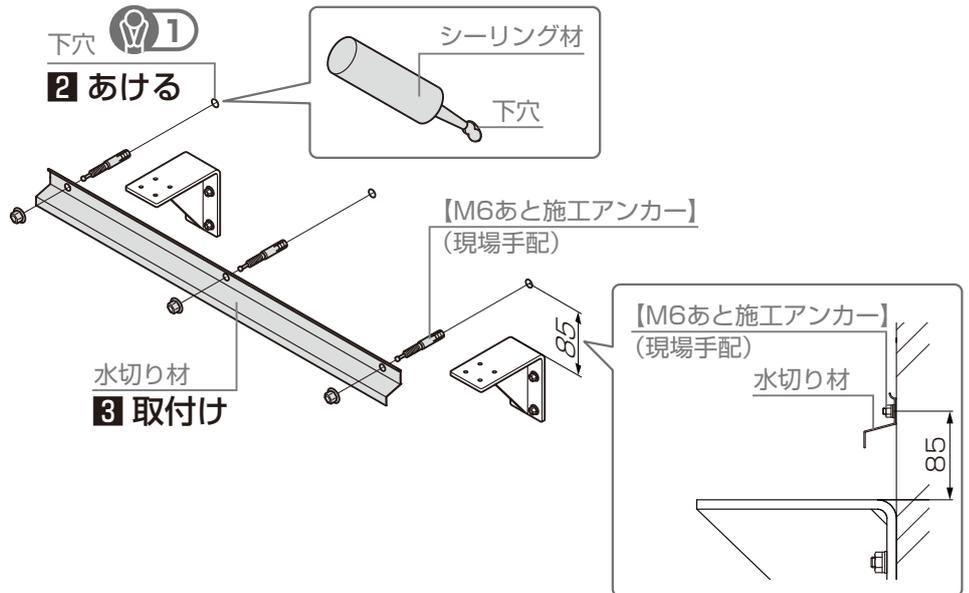
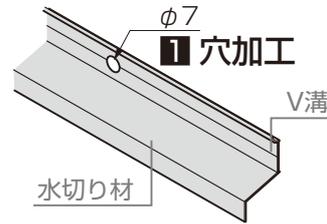
お願い 1

- 躯体の下穴には、必ずシーリング材をしてください。

注意

- 【M6あと施工アンカー】(現場手配)推奨の下穴より、大きい穴をあけないでください。【M6あと施工アンカー】が抜け易くなります。

4: 前枠を壁付部品に仮置き



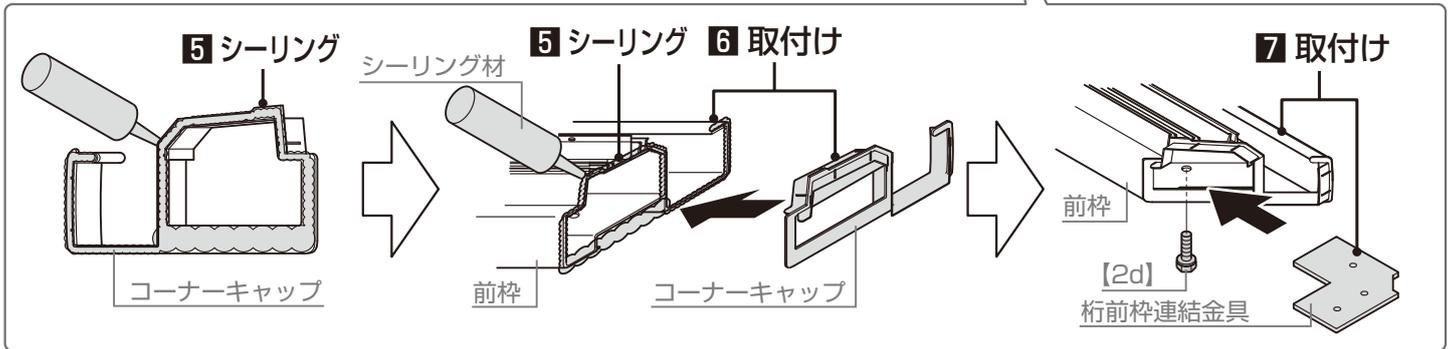
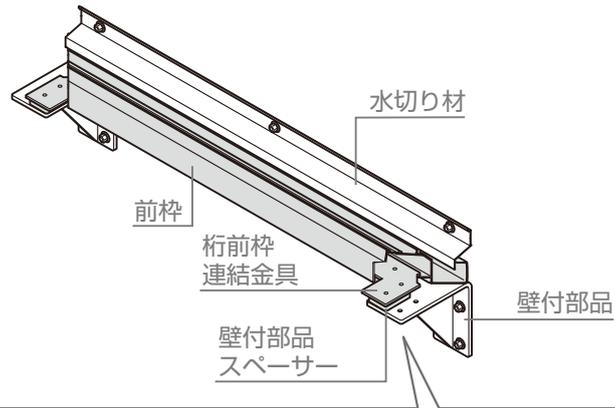
2 本体の施工

[2a]	M8×40六角ボルト	[2d]	M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)
[2b]	M8 バネ座金		
[2c]	M8 平座金		

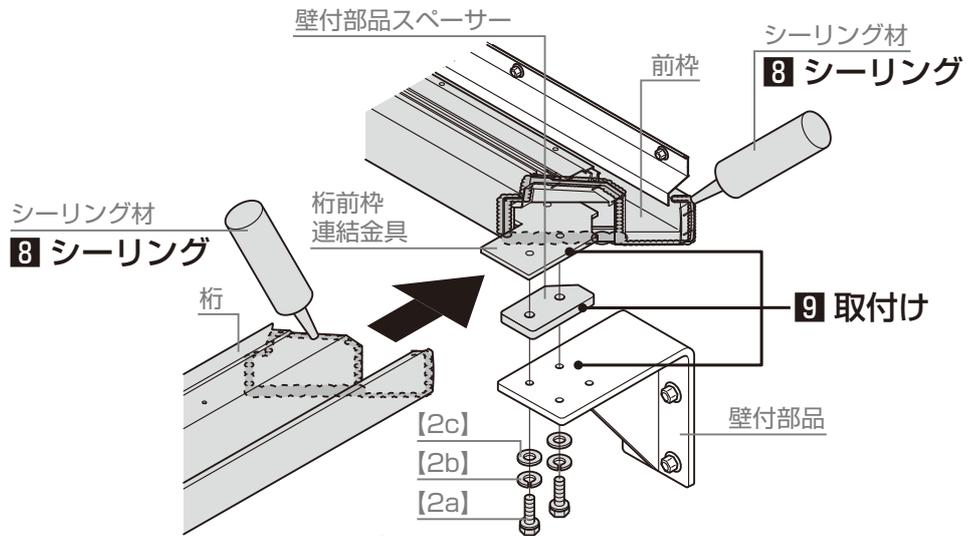
2-2 前枠側壁付け

2-2-3 前枠

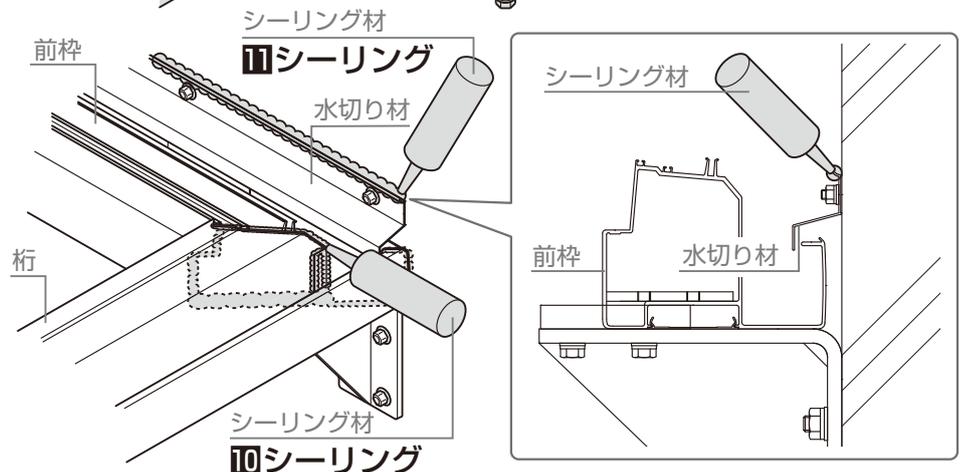
- 5: 前枠とコーナーキャップにシーリングを塗布
- 6: コーナーキャップを前枠に取付け
- 7: 桁前枠連結金具を前枠に[2d]で取付け



- 8: 桁とコーナーキャップにシーリングを塗布
- 9: 桁を前枠と壁付部品に[2a][2b][2c]で取付け



- 10: 桁と前枠とコーナーキャップの接続部にシーリングを塗布
- 11: 水切り材にシーリングを塗布



お願い

●以降の取付けは「E460 アーラインシェルター AR-F型 両支持仕様」P.13~P.22を参照してください。

梱包明細表

【1】壁付金具部品セット (桁側)	
名 称	員 数
壁付部品 (桁側)	1
柱桁金具スペーサーA	1
柱桁金具スペーサーB	1
【1a】 M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)	2
【1b】 φ6×30 サラ小ネジ	4
【1c】 M6 六角袋ナット	4
【1d】 M6 平座金	4

【2】壁付金具部品セット (前枠側)	
名 称	員 数
壁付部品 (前枠側)	2
桁前枠連結金具 (壁付用)	2
壁付部品スペーサー	2
【2a】 M8×40六角ボルト	4
【2b】 M8 バネ座金	4
【2c】 M8 平座金	4
【2d】 M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)	2

【3】水切り材セット	
名 称	員 数
水切り材	1

【4】桁セット (前枠側)												
名 称	員 数											
	右端部用1本入			左端部用1本入			右端部 単独用1本入			左端部 単独用1本入		
	600N用		900N用	600N用		900N用	600N用		900N用	600N用		900N用
	W20・25	W30	W20・25・30	W20・25	W30	W20・25・30	W20・25	W30	W20・25・30	W20・25	W30	W20・25・30
雨樋スリーブ	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桁単体 (壁付用)	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1
桁右端部 (壁付用)	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桁左端部 (壁付用)	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
屋根材押え 端部用	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
屋根材押え 中間用	5	5	7	5	5	7	5	5	7	5	5	7
桁力バー 右端部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
桁力バー 左端部	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
桁力バー 中間	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
桁スリーブ	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【5】部品セット基本用 (桁側)			
名 称	員 数		
	600N用		900N用
	W20・25	W30	W20・25・30
アンカー棒	3	3	3
コーナーキャップ	4	4	4
桁前枠連結金具	4	4	4
柱桁金具	3	3	3
パネル緩衝材	1	1	1
PLラベル (雪降しシール)	1	1	1
シーリング剤	1	1	1
【5a】 φ5×13ナベドリルネジ	100	100	100
【5b】 M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)	26	26	26
【5c】 φ5×12トラスタッピンネジ3種	166	205	205
両支持 取付説明書 (E460)	1	1	1
シールド 取扱説明書 (UE106)	1	1	1
壁付け 取付説明書 (E466)	1	1	1

【6】部品セット連棟用 (桁側)			
名 称	員 数		
	600N用		900N用
	W20・25	W30	W20・25・30
アンカー棒	2	2	2
柱桁金具	2	2	2
シーリング剤	1	1	1
【6a】 M8×20六角ボルト (PW・緩み止め付)	16	16	16
【6b】 φ5×12トラスタッピンネジ3種	105	130	130
【6c】 φ4×16ナベタッピンネジ3種	4	4	4
【6d】 φ5×13ナベドリルネジ	70	70	70

梱包明細表

【7】 部品セット基本用 (前枠側)			
名 称	員 数		
	600N用		900N用
	W20・25	W30	W20・25・30
アンカー棒	2	2	2
コーナーキャップ	4	4	4
桁前枠連結金具	2	2	2
柱桁金具	2	2	2
パネル緩衝材	1	1	1
PLラベル (雪降しシール)	1	1	1
シーリング剤	1	1	1
【7a】 $\phi 5 \times 13$ ナベドリルネジ	56	56	74
【7b】 M8 \times 20六角ボルト (PW・緩み止め付)	16	16	16
【7c】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種	105	130	160
両支持 取付説明書 (E460)	1	1	1
シェルター 取扱説明書 (UE106)	1	1	1
壁付け 取付説明書 (E466)	1	1	1

【8】 樋部品セット (桁側)	
名 称	員 数
雨樋アタッチメント	1
雨樋孔ふさぎ	3
雨樋受けL	1
雨樋受けR	1
【8a】 M4 \times 10ナベ小ネジ	8
【8b】 $\phi 4 \times 10$ ナベタッピンネジ3種	4

【14】 サイドパネル補強梁セット						
名 称	員 数					
	2本入			3本入		
	W20	W25	W30	W20	W25	W30
補強梁	2	2	2	3	3	3
補強梁カバー	4	4	4	6	6	6
補強梁取付金具	8	8	8	12	12	12
【14a】 $\phi 5 \times 12$ ナベタッピンネジ 3種	16	16	16	24	24	24
【14b】 $\phi 5 \times 13$ ナベドリルネジ	16	16	16	24	24	24

【9】 樋セット		
名 称	員 数	
	L=3100	L=1000
樋 $\phi 40$	1	1

【10】 アタッチメントセット	
名 称	員 数
雨樋アタッチメント	1
雨樋孔ふさぎキャップ	1
雨樋パッキン	2
【10a】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種	4

【11】 ドレインエルボセット	
名 称	員 数
ドレインエルボ $\phi 40$ 用	1

【12】 エルボセット	
名 称	員 数
92°エルボ $\phi 40$ 用	1

【13】 でんでんセット	
名 称	員 数
でんでん	2
【13a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ	2

取説コード

E466

JZZ634765B
201810A_1049
201901B_1049